**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」**

**バレーボール競技実施要領**

１　競技規則

令和５（２０２３）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか，この要領の定めるところによる。

２　チーム

　　全てのチームにおいて監督及びコーチが選手を兼ねる場合は，選手名簿に登録され

　ていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は，選手を兼ねる監督及

　びコーチを含めて１２名以内とする。

⑴　聴覚障害者のチーム

ア　チームの構成は，監督１名，コーチ１名，マネージャー１名及び選手１２名以内とする。

イ　男女別にチームを編成する。

⑵　知的障害者のチーム

ア　チームの構成は，監督１名，コーチ１名，マネージャー１名及び選手１２名以内とする。

イ　男女別にチームを編成する。

⑶　精神障害者のチーム

ア　チームの構成は，監督１名，コーチ１名，マネージャー１名及び選手１２名以内とする。

イ　男女混合でチームを構成する。（試合中は少なくとも１名以上の女性プレイヤーが出場していなければならない。）

３　競技方法

⑴　試合は，聴覚障害（男女別），知的障害（男女別）及び精神障害ごとにトーナメント方式とし，３位決定戦を実施する。また，トーナメント戦以外に，交流戦を実施する。

⑵　全試合３セットマッチとし，２セットを先取したチームを勝ちとする。

⑶　１セット２５点のラリーポイント制とする。（ただし，交流戦の３セット目は１５点のラリーポイント制とする。）

なお，得点が「２４対２４」（交流戦３セット目は「１４対１４」）の同点となった場合，それ以降は，２点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

⑷　第３セットはいずれかのチームが１３点（交流戦は８点）先取したときにコートの交代を行う。

⑸　試合は，ワンボールシステムで行う。

⑹　設定時刻より早く試合を開始することはない。設定時刻を過ぎた場合は，直前の試合終了の１０分後にプロトコールを開始する。ただし，連続試合となる場合は試合終了後の２０分以上空けてプロトコールを開始する。

４　服装等

⑴　背番号は，１番から１２番までとする。やむを得ない場合は，１番から９９番までとする。なお，チーム名，キャプテンマーク及び背番号等のサイズは，規定のものとする。また，ユニフォームに都道府県名・指定都市名を表示すること。

⑵　リベロプレーヤーを採用する場合は，他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。

５　ネットの高さと試合球

⑴　ネットの高さは，次のとおりとする。

ア　聴覚障害の試合　男子２．４３ｍ，女子２．２４ｍ

イ　知的障害の試合　男子２．３０ｍ，女子２．１５ｍ

ウ　精神障害の試合　２．２４ｍ

⑵　聴覚障害及び知的障害の試合球は，次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球５号球（人工皮革・カラーボール）とする。

ア　男子　モルテン製カラーボール（Ｖ５Ｍ５０００）

イ　女子　ミカサ製カラーボール（Ｖ３００Ｗ）

⑶　精神障害の試合球は，日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周７８±１ｃｍ，重量２１０±１０ｇ）（Ｓ３Ｙ１５００－ＷＸ）とする。

６　組合せ

組合せは，令和５（２０２３）年７～８月に開催するプログラム編成会議において，主催者が関係者立会いの下に代理抽選を行い，決定する。

７　表彰式

表彰式は，競技終了後に競技会場で行う。

８　その他

⑴　監督会議は，令和５（２０２３）年１０月２７日（金）に行う。なお，監督会議の時間及び場所については別途通知する。

⑵　ベンチには，選手，監督，コーチ，マネージャー以外は入ることができない。ただし，聴覚障害者のチームにおいて，チームスタッフ３名とは別に手話通訳者１名が帯同する場合はこの限りではない。手話通訳者は，参加申込時に登録した者とする。

⑶　監督，コーチ，マネージャーは統一された服装を着用すること。

⑷　チームスタッフ３名とは別にトレーナーを帯同しているチームは，決められた位置に１名待機させることができる。なお，トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは，実際に施術ができる者とし，公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

⑸　競技場内へは，ベンチに入る者の他，大会役員等の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。

⑹　練習は定められた場所で安全に留意し，主催者の指示に従って行うものとする。

⑺　荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは，主催者において別途定める。